

瀬戸市【愛知県】

歴史文化基本構想を活用した 観光拠点づくり事業



■ 協議会メンバー…
 瀬戸商工会議所／瀬戸市まるつ
 とミュージアム・観光協会／瀬
 戸まちづくり株式会社／瀬戸市
 国際センター／公益財団法人瀬
 戸市文化振興財団／瀬戸市

■ 構想策定年度…
 平成二十九年二月
 ■ 補助事業期間…
 平成三〇年三月三〇日
 平成三〇年九月一日

歴史文化基本構想の概要

瀬戸市は千年以上の窯業の歴史を持ち、「陶都」とも呼ばれる都市である。その背景には、窯業生産に適した豊かな自然資源や環境、尾張・三河・美濃三国の境界地であるため各地の文化を取り入れてきた歴史などがある。こうした歴史や文化を示す市内の歴史文化遺産を総合的に把握し、瀬戸市特有の風土も踏まえ、関連文化財群を8つのストーリーにまとめている。

観光拠点形成の方向性

- ・ 歴史文化を観光地域資源とし、ストーリーに基づき面的整備を図る
- ・ 「せともの」を切り口に地域の産品などのブランド化を図る

観光に関する課題

- ・ 観光客や市民の瀬戸の認知度不足
- ・ 歴史文化情報の未整理と一元化不足
- ・ 地域資源の新たな発掘が不十分
- ・ 地域資源のネットワーク化が不十分

事業概要

瀬戸市歴史文化ポータルサイト作成事業

近年、観光情報の入手先はインターネットが中心となっていることから、観光情報として瀬戸市の歴史文化を紹介するポータルサイトを作成し、貴重な古写真などをアーカイブ化して公開した。

KPI ポータルサイトアクセス数：0(H28)→10,000(H31)

情報発信



瀬戸市歴史文化ガイドブック作成事業

市内にある魅力的な地域資源を紹介し、市内全域にわたる地域資源を巡る回遊性の高いガイドブックを作成した。個人観光客でも周遊しやすく、歴史文化遺産の理解が深まる内容とした。

KPI 市の入込観光客数：
2,050,000人(H28)→2,070,000人(H31)

情報発信



瀬戸市地域資源ガイドマップ作成業務

地域資源を活用したまち歩きの間を通して、まちの交流人口の増加を図り、観光客に地域ごとの歴史文化遺産の見どころを発信するためガイドマップを作成した。コースは観光ボランティアと共同で作成し、窯垣や陶祖碑など、瀬戸でしか見れない風景をテーマ別に歩けるものとした。

KPI 市の入込観光客数：
2,050,000人(H28)→2,070,000人(H31)

情報発信



女性目線のおでかけプログラム実施事業

女性目線で、土地に息づくストーリーを楽しむ大人のおでかけプログラムを企画し、自分ならではの歴史と文化体験を選び、知的好奇心を満たす旅の提案ができる冊子を作成した。観光業者と連携した観光商品の作成をめざし、来訪者の増加を目指す。

KPI 観光案内所を訪れる女性の増加割合：
0%(H28)→5%(H31)

情報発信



成果

① 地域資源のみえる化

ガイドブック、ガイドマップの作成により、これまで地域観光資源として捉えられていなかった歴史文化遺産も来訪者に魅力的な資源として紹介されるようになった。

② 新たな観光プログラムの開発

やきもののみちを巡るストーリーを提示したり、ガイドブックやおでかけプログラムの中から自分にあった旅を選択できるようにしたことにより、多くの地域資源を巡ることができるようになった。